

第六回北陸医史学同好会総会・例会

日本歯科医史学会第一五一回例会

期日 昭和五十九年七月八日(日)

時 五十九年九月二十一日(金)午後六時より

場所 福井県医師会館

会場 台東区上野二―一―一三
モリタ本社事務所ホール

(会員研究発表)

一、今昔物語の中の医学(三)

白崎昭一郎

二、北陸地方の看護の発展(その2)

演題 一、明治二十年代の法歯学歯科医事法学の出版物につ
て
二、パレ全集、第一二版にみられる歯科領域の記述

石川県における看護教育のはじまり 萩野妙子、金川克子

高直山秀

天津栄子、泉キヨ子

三、越中高岡佐渡三良の著書「和蘭薬性歌」について

正橋剛二、松田健史

四、私立松江病院について

寺畑喜朔

五、大野藩「洋印」の流行

岩治勇一

六、牛痘法の北陸地方への普及について(第二報)

松田健史、正橋剛二

七、奥村良筑と萩野元凱

加藤豊明

(特別講演)

一、オランダでみつけたスロイスの約定書とキュンストレーキ

石田純郎、H・ポイケルス

二、若狭の蘭学事始

田辺賀啓